

「強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う」

標語

- 国際会長 "Active Participation with Love"  
「愛をもって 積極参加」
- アジア会長 "Participation and Inspiration"  
「参画、そして感動を！」
- 西日本区理事 "One for all, all for one"  
「一人はみんなのために、みんなはひとりのために」
- 京都部部长 「百花繚乱 - 京都部 - 」

西日本区強化月間

評価・計画

今月の聖句

「神の国を何にたとえようか。どのようなたとえで示そうか。それは、からし種のようなものである。土に蒔くときには、地上のどんな種よりも小さいが、蒔くと、成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉の陰に空の鳥が巣を作れるほど大きな枝を張る。」マルコによる福音書 第4章30～32節

クラブ  
会長標語

Heart Sharing

- 会長 河合久美子
- 副会長 桂厚子 岩本敬子
- 書記 牧野万里子 星野淑子
- 会計 大西光子 金澤典子

『1年間ありがとうございました』



今期もいよいよ最終ゴールを迎えようとしています。今日まで常に私を支え、盛り立てて下さった、全てのメンバー・メネットの皆様、心より感謝を申し上げます。

会長として、1年間、ウエストクラブの全ての活動に参加させていただきました。振り返ってみれば、あっという間だったようにも思います。毎月の例会はもとより、京都部ボーリング大会ホスト、広報100人例会、IBC交流など、今期独自の大規模な事業も、お陰様にて無事遂行でき(つつあり)、また、定例的なYサ・地域奉仕などの年間の奉仕活動も、皆様のご協力により、全うすることができました。行事をこなすことだけが重要事項ではないにせよ、正直、ほっとしているというのが、今のありのままの気持ちです。

これらの全活動を通じ、会長として学んだ事柄は沢山ありますが、最も私が感動を覚えたことは、「物事を成し遂げていく過程において、メンバー相互の深い協力関係を通して得られる信頼関係の素晴らしさ」ということでした。クラブの運営や事業の遂行に関し、担当者や委員長を中心に、綿密な準備を重ね、メンバーが役割を分担して協力し合い、各自が自らのパートに責任を持ち、助け合いながら、目的に向かって進んでいく。時には、「忙しいのにどうしてこんなことをしなければならないのか」と思うことがあったり、仕事や家庭や、個人的な何かを犠牲にしたりすることもあったかも知れませんが、けれども、そうやって障害を乗り越えながらも奉仕していく中で、得られる仲間との「絆」は強く、何物にも

会長 河合 久美子

換えがたいものだと思います。まさに『ハート・シェアリング』そのものなのです。これらのことは、積極的・主体的・能動的に関わってこそ得られる、ワイズの醍醐味であり、喜びであるのだと思います。今期、メンバー間に、特に奉仕活動においての認識の温度差を感じる事が多々あり、会長として、クラブ内の意識を高めることができなかったことは反省すべき点でありました。ワイズから得られるものには、目に見えない宝物が山のように沢山あると思います。今後は、「自ら立ち上がって」関わって下さる仲間が増えていくことを願ってやみません。

メンバー数も減少し、期の開始前に掲げた目標を十分に具体化することができず、会長としての想いもうまく伝えることができなかったかも知れませんが、私なりに、クラブ内の陽の当たらない地味な部分にも目を向け、整備するように努めたつもりです。会長としてのリーダーシップは、一般的には、男性的な強力なものが求められるのかも知れませんが、私は、それこそ『百花繚乱』のごとく、様々な個性の会長がいても良いのではと思いますし、それが許されるのがワイズではなかるうかとも思います。次期の岩本会長期には、また一味違ったクラブライフを楽しませていただきたいと思っていますし、今後は、一メンバーとして、30周年に向けて、微力ながら協力を惜しまないつもりです。

最後になりましたが、1年間、細やかにサポート下さった女性三役の皆様、お世話になりっ放しだった各事業委員長さん、行き届いた配慮を下さったメネットの皆様、途中でやむなく退会された方々も含め、全ての皆様に、再度、心からの感謝を申し上げたいと思います。1年間、楽しませていただきました。どうもありがとうございました。

5月在籍者		例会出席率		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
会員	第一例会	第二例会	切手	Opt	第一例会	ネットファンド			
26名	メン	1名	現金	Opt	0円	0円			
広義・功労会員	メネット	0名	(メイキャップ含む)		第二例会				
0名	コメント	0名	累計			12,000円			
	ビジター	7名	切手	Opt	累計	183,400円	ファンド		
	ゲスト	9名	現金	Opt	年間合計				
合計	26名計	6名	なし						

出席第一・時間厳守・環境問題についての意識改革、行動・親睦・奉仕

## 京都ウエスト杯ゲートボール大会

2007年5月13日(日)長岡市運動公園

会計 大西 光子

さわやかな五月晴れの下で、第18回ゲートボール大会(京都ウエストワイズメンズ杯)が5月13日(日)長岡天神の公園で開催されました。

参加チームは19チーム、お手伝いを含めて総勢約120名が、日頃の成果を発揮して快い汗を流しました。その中でもウエストチーム、監督の指示に従いプレーしているのに、どうしたことかボールが勝手に・・・結果コートの外へ、ついに相手チームに対して、「ウエストチームのボールを外へ出すな」と監督に言わしていました。

相手チームの方々も、「こんなゲームはじめて」と楽しんでいただき、参加することにも意義があると変なところで納得していました。

試合の合間に、ウエストの「うどん屋」も開店! 中原ワイズ店主以下ワイズメンバーと中原、野田メネット、野田コメット、応援に駆けつけてくださった柳メネットの活躍で大繁盛! メンバーの参加が少ない中で無事大会を終えることができほっとしました。

私にとっては、風に頬をなでられながら心地よい時間を過ごすことができた一日でした。(腰が悪いので少し横にが、すっかり午睡?あとかたづけしなくてごめんなさい。)

今後の課題、ゲートボール大会の運営に対しては、参加人数の減少や大会参加者の高齢化、参加費用、広報等問題点もあります。ワイズとしての関り方も見直す時期に来ているのではないのでしょうか。次期開催までには、ゲートボール役員の方々と十分検討し、お互いが現実を理解してよい解決を見つける必要があります。

地域奉仕委員長 中村 豊ワイズより一言

因みに当日第二日曜日は、毎年地元で祭りがあり、この影響で参加チームが前回より少なかったそうです。また野外例会にはいつもの顔ぶれが見られず、少し寂しいことでもありました。

(河合、中村、中原、岩本、大西ワイズ、中原、野田、柳メネット、野田コメット)

## インターナショナルチャリティーラン

2007年5月20日(日)鴨川公園

書記 牧野 万里子

5月20日(日)、京都YMCA主催の、障害のある子供たちを支援するために走る「インターナショナル・チャリティーラン」が、京都市北区の鴨川公園で開催されました。

大人から子供まで約400名の参加者達は、さわやかな汗を流しながら、懸命に走りました。京都では3回目の開催ですが、YMCAが障害のある子供たちを支援する為のプログラムとして、20年前から行なわれているそうです。今回の支援金の合計は約240万円、参加費を募金に、走る事をボランティアに位置づけ、今年度も京都を含

め全国14カ所で開催されます。

北大路橋から出雲出橋までの鴨川沿いを一周1.7キロのコースを4人1組で行なう小学生駅伝、大人4人で行なう駅伝、決められたタイムへの近さや、コスチュームの面白さを披露して走るグループラン、二週3.4キロを走るコースなど4種目が行なわれました。参加者は大人から子供まであわせて約400名の参加者達は、小雨の中を懸命に走り、観客達からは大きな声援が送られていました。

ウエストクラブは、冷凍みかん、みやこ作業所特製のお味噌の販売、そしてグループランへの参加です。徳議会の方々にもお越しいただき、小学生駅伝にご参加いただきました。

徳議会の皆様、ありがとうございます。

序盤は小雨が降り、肌寒い日にもかかわらず、メンバーの熱意のおかげで、何とか冷凍みかんも完売する事ができ、楽しい一日を過ごす事ができました。

参加者 河合、岩本、大西、立山、中原、中原メネット、松本、森田、森田メネット、鈴木、牧野、

徳議会の皆様(先生2名、生徒4名)

グループラン走者 平安徳議会4名、森田ファミリー、河合、岩本、牧野

## 5月第2例会

2007年5月24日(木)リーガロイヤルホテル

EMC委員長 島田 博司

第622回5月第2例会がリーガロイヤルホテルシャルムの間で行なわれました。

ゲストとしてエイブルクラブから次期京都部地域奉仕主査の上澤正廣ワイズ、ウエルクラブから会長の一ノ瀬ワイズ、松田次期会長、中村書記、永井会計、高山ワイズご紹介でゲストスピーチをしていただくイノベーション建築設計事務所代表の吉田忠之氏とアシスタントの河村真理子さんをお迎えして定刻通り始まりしました。河合会長からの開会点鐘、ワイズソング斉唱の後いつもながらなるほどとうなずくことの多い会長挨拶、ゲストの紹介がありました。先日のチャリティーランの報告を兼ねて辻中連絡主事の食前の一言があり、今年は雨で寒かったにもかかわらず冷凍みかん販売の笑い話も飛び出し、確か去年は晴天で、思惑がはずれたのかなと・・・。食事タイム、委員会報告の後、IBCの報告が野田委員長からあり、緻密な打合せをPT委員会で行われているんだということが感じられました。そして2008年度事業計画案が岩本次期会長から、予算審議案が中原次期会計より説明があり、承認されました。そしてゲストスピーカーであるイノベーション建築設計事務所代表の吉田忠之氏より「これさえ知れば安心!悪質リフォームから身を守るための七つの方法」と題し、建築家・工務店から見た悪質なりフォーム会社からだまされない為の貴重な話をお聞きしました。結構身近にあるんですね～。私も建築に携わる身ですのでお互いに気をつけましょ

うね！藤居ワイズ。他クラブアピールとしまして、次期京都部 CS チャリティーボーリング大会をホストされるウエルクラブさんよりアピールがありました。そしてアカベラの HAPPY BIRTHDAY、音楽付の HAPPY ANNIVERSARY の後ニコニコタイムがあり、盛りだくさんの内容とたくさんのゲストをお迎えしての例会が河合会長の閉会点鐘とともに終了いたしました。



ゲストスピーカーの吉忠之田氏

新連載コラム 森田ワイズの  
『京都ウエスト温故知新(第二部)』  
その六 相次ぐ受賞と会員 55 名達成に挑戦

前号記事のうち最後にふれた白波五人男を演じたのは京滋部三役ではなくて、日本区理事・中部と京滋部の部長及び次期部長のメンバーでした。訂正してお詫びします。

さて、京滋部初代部長として、「鍛えようわが心、わがクラブ 京滋の地に実りと拡がり求めて」を標榜した森田ワイズは、ウエスト創立時と同様に、新生部の円滑な運営のために基本となるべき部則を制定、事務局組織を固めて部報を発行。部内クラブ間の距離が短縮された利点を活かしくラブ間の親睦を深め、ワイズメン意識の強化を図り、クラブ格差の是正によって部の拡大充実を目指すために Y サ・C S シンポジウム、E M C 研修会を開催、各クラブにファンド委員会の設置など積極的な活動を展開しました。

部内の各クラブも新天地を得たかの如くその活動はめざましく動き出し、中でも、1983年11月に国際に於いても初めての快挙となった、京都めいぶるクラブ・京都キャピタルクラブの双子クラブを誕生させたスポンサークラブの京都パレスは、両クラブに37名のキーメンバーを送り出しても、なお60名の会員数を有するという強靱な体力を維持した巨大クラブとなっていました。京都ウエストもこれに負けじと第3回バンブーバザールでは身体障害者施設とも提携をしたり、Y M C A とワイズとのパートナーシップを P R するポスター展示パネルを、米国グランドラビッツ国際大会会場まで搬送協力するなどユニークな諸活動を展開しました。

この結果、思いがけなくも、1984年6月の仙

台日本区大会において最優秀クラブとして、また部長としてそれぞれに Creative Power 賞を、8月には国際協会からも優秀部長賞である Elmer Clowe Award を受賞する榮譽に浴しました。

こうしたクラブチャーター後4年の輝かしい実績は、継続事業であればこそその成果であったのですが、反面継続事業にはマンネリ感を醸成しかねないというリスクがあることに心せねばならず、5年を一つの大きな節目として、メンバー全員初心に戻り活動しようとの決意のもとに、チャーター時の会員目標であった55名達成に挑戦すべく“心一つに前進を”のクラブテーマを掲げ、汗にまみれた心の快感を感じる多くの奉仕活動に奮励しつつ、全員が会員増強に努めた結果、目標達成こそならなかったものの49名と実に15名も増加させたのでした。

Bamboo の毎号にはいつも新入会員のプロフィールが掲載されることの嬉しさ、喜びは、数の力、勢いとなって、1985年5月5日、5周年式典をしょうざんのプールサイドにて開催。長岡京市長、乙訓ロータリークラブ会長、各支援団体代表、Y M C A 理事長、日本区理事等多くの来賓を含め参加者は実に220名という盛大な式典行事となったのでした。

なお、5周年記念アクトとして、長岡 Y M C A にワードプロセッサー、長岡京市に「福祉保険号」と命名された軽自動車、乙訓若竹苑へは寄付金、平安徳義会にも奨学金を寄贈しました。

こうした努力が認められたのが1985年6月伊東での日本区大会において M C 国際会長賞を受賞する結果となり、努力の甲斐があったとみんなで感激を味わったことでした。

一方、京滋部のみならず日本区そのものにも大きな影響を及ぼす出来事がありました。それは京滋部がスタートしてまだ一年半にすぎないにも拘わらず、日本区中枢機関からの期待として日本区で2回目の国際大会を京都で開催してはとの推奨を受け、京滋部としてはそれに呼応、1988年の国際大会を京都に誘致することを宣言したのでした。1985年1月には国際役員がメイン会場となる京都国際会館などを視察するために入洛。京滋部主催の歓迎会において、京滋部は京都国際大会のホストを引き受けるための大きな目標として、会員数500名(当時は350名)達成の夢を高らかに打ち上げたのです。それ以降は当然のことながら部内全クラブが心一つに一致協力し、夢の実現へと活動を開始したのでした。

(2007.6月)

5月役員会議案報告

	内容	結果
議案 1	西日本区大会補助について、メンバー、メネット1名 5,000円とし、活動補助費より拠出する。(負担額メ 10,000円,メネット 15,000円)	承認


## 6月 Schedule

6月4日	(月)	新旧合同三役会	19:00~	今出川 Y M C A
6月7日	(木)	新旧合同役員会	19:30~	リーガロイヤルホテル
6月8~12日	(金・火)	I B C トライアングルキャンプ	未定	大阪、京都
6月9~10日	(土・日)	西日本区大会(第一例会)	未定	松下 IMP ホール
6月23日	(土)	第二例会(引継ぎ例会)	18:00~	リーガロイヤルホテル


## 7月 予 定 抄

6月24日	(日)	リトセン夏季の準備ワーク	未定	リトリートセンター
7月2日	(月)	三役会	19:00~	今出川 Y M C A
7月5日	(木)	役員会	19:30~	リーガロイヤルホテル
7月12日	(木)	第一例会(キョウワ例会)	19:00~	リーガロイヤルホテル
7月26日	(木)	第二例会(E M C 例会)	19:00~	リーガロイヤルホテル

## 6月 Happy Birthday

	メン	メネット
	島田 博司	山下 洋子
	大野 恭生	
	塚本 勝己	

## 6月 Happy Anniversary

	島田 博司・由美子	

## 6月 他クラブ例会案内

	第一例会		第二例会	
	日程	場所	日程	場所
パレス	9-10日	西日本区大会	23日	ブライトン
洛中	9-10日	西日本区大会	24日	全日空
みやび	6日	三条 YMCA	23日	セントノーム

## YMCA News

### 1. Y M C A サマープログラム参加者募集!

Y M C A では今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。

全てのプログラムは、まずはお電話にてご予約ください。キャンプ受付日時 会員 6月12日~一般 6月14日~

電話 (075) 231-4388

会員先行申し込み期間の 6月12~13日の期間に限り電話に加え F A X ・ E メールでもお申し込みいただけます。

F A X (075)251-0970 /

Email camp@kyotoymca.or.jp

短期集中スイミングスクール、デイキャンプ、鉄棒・とび箱が好きになる教室

会員 6月15日午前10時~、一般 午後2時~

電話 075-255-4709 (お問い合わせも左記電話まで)

3. 京都 Y M C A リトリートセンター夏季準備ワークご協力のお願い

夏季利用の前の準備ワークを下記日程で予定しております。

実施日 2007年6月24日(日) 9時30分~15時頃

内容 草刈・施設清掃・整備など

お問い合わせ 京都 Y M C A リトリートセンター事務局 中村 電話(075)231-4388

4. 京都 Y M C A サバエ教育キャンプ場設営ワークご協力のお願い

以下の日程で設営ワークを予定しております。皆様のご協力をお願いいたします。

実施日 2007年7月1日(日)、7月8日(日) 9時~15時(サバエ教育キャンプ場滋賀県近江八幡市)

電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970 担当:松本

## 泉州水なす漬物ファンドのお知らせ

今回、大阪泉州で青果業創業75年の向井青果「なす清」さんの御協力により新鮮で美味しい水なすを御提供させていただきます。水なすは8月終わりまでが美味しくいただくことができその美味しさはウエストメンバーの保証付です。お中元にもよし、お礼の品にもよし、ぜひお早めに御注文ください。

価格 6個入 ¥2,000、8個入 ¥2,600、10個入 ¥2,900(税込)  
お問い合わせ・御注文はファンド委員長の山下がお受けいたします。お中元・御礼などの熨斗(のし)お申し付け下さいませ。対応させていただきます。

京都ウエストワイズメンズクラブ

ファンド事業委員長 山下 太郎

E-mail : yamashita@kyoto-west.com

TEL :090-4905-0800 FAX :(075) 493-3321

## 今月の聖句解説

### by 辻中連絡主事

イエスが作り出そうとした神の国は、人と人が助け合い支え合い、愛し合って幸せに生きていける世界、どんな人も大切にされて、自分らしく生きていける世界のことです。それは一人一人の小さな行いや、優しい気持ちによって、ここにもあそこにも、どんなところにも作り出される小さな国で、友達のいない寂しい人に優しい声をかけて友達になれたら、そこに神の国が生まれる。病気でつらい気持ちの人を、見舞いにいけばそこに神の国が生まれる。食べ物がない人と一つのパンを分け合えば、そこに神の国が生まれる。神の国は、そんなふうに私たちの小さな行いや優しい気持ちによってあちこちに作り出される。そしてそこから種が運ばれて散らばって、またあちこちに芽を出していく。神の国とはそういうものなのだといエスはおっしゃっています。

## 編集後記

### ブリテン委員長 立山 隆一

メンバーの皆様の協力のおかげと優秀なスタッフに支えられブリテン委員長を一年間務める事が出来ました。心よりお礼申し上げます。

有難うございました。感謝

2007年1月号より当クラブのブリテン(紙面版)はグリーン商品リスト掲載品・FSC承認パルプを使用しています。

また製本は(社)京都手をつなぐ育成会 山科共同作業所(知的障害者自立支援センター)に委託しています。